

助詞

↓活用のない（Ⅱ形が変化しない）付属語（Ⅱ単体で文節を作ることができる）。

語句と語句との関係を示したり、意味を付け加えたり、気持ちを表す働きをする。

○格助詞↓主に体言につき、後の語句との関係を示す。

格助詞が示す4つの関係

←

- ・主語を示す（主格） 私が話す
- ・連用修飾語を示す（連用格） 本を読む
- ・連体修飾語を示す（連体格） 学校の備品
- ・並立の関係を示す（並立格） 私と弟が行く

格助詞は十種類しかないので、覚えてしまったほうが楽。

を／に／が／と／より／で／から／の／へ／や

（鬼が戸より出、空の部屋）

○接続助詞↓主に活用する語句に付き、前後をいろいろな関係でつなぐ。

例が

- ・確定の逆接↓少し早いが、もう起きよう
- ・並立↓彼は勉強ができるが、運動も得意だ。
- ・前置き↓この後だが、予定はあるの。

見分けるポイント

「しかし」を用いて二文に置き換えられたら逆接

「そして」を用いて二文に置き換えられたら並立

それ以外なら前置き

○終助詞↓文や文節の終わりに付き、感情や態度を表す

例 か(疑問、質問、反語、感動) な(禁止、命令)など…

○副助詞↓さまざまな語句に付き、意味を付け加える。前の

三つに当てはまらなければ副助詞と判別してよい。

